

## 上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（特別研究・一般研究）

研究代表者 所属・職名 上越教育大学附属小学校・校長

氏 名 大場 浩正

研究期間 平成30年度～平成31年度

（令和元年度）

研究プロジェクトの名称	21世紀を生き抜くための能力を育てる ～自分をつくり未来を拓く子どもが育つ学校～
研究プロジェクトの概要	<p>[目的] これからの社会では、社会の変化を自分事として引き受け、起きていることを注意深く捉え、思慮深く判断し、未来の社会像を描きながら新しい考えや行動様式をつくり出す力が求められる。このような21世紀を生き抜く力を育むために、「創造活動」「実践教科活動」「実践道徳」「集団活動」の4つの教育活動から編成される教育課程や系統的な指導に関する研究開発を行った。</p> <p>[特色] 新たな社会を創出する子どもには、自身の思いや願いの実現、社会の矛盾や対立の解決に向けて自ら行動することが求められる。本研究では、そんな子どもの「問い」が立ちあがる教育活動づくりを通して、「自分をつくり未来を拓く子どもが育つ学校」を目指し、教育課程開発研究に取り組んだ。具体的には「創造活動」「実践教科活動」「実践道徳」「集団活動」の4つの教育活動において、「創造活動」を中核にそれぞれの活動の関連を図った教育課程の編成・開発を行ってきた。</p> <p>[期待される成果] 新教育課程の実施によって、子どもの基礎力、思考力、実践力を高め、これからの社会（21世紀）をつくり、生き抜く子どもを育成する。</p>
研究 成 果 の 概 要  ※申請時にチェックした「取組課題」との関連とその成果も明記すること。	<p>○新たな研究主題を定め、子どもの「問い」が立ちあがる教育活動づくりに取り組んだこと</p> <p>これからの時代を生きる子どもには、自分の体験を基に思考したり判断したり、他者と共に生きたりしながら、新しい社会を創り出す姿が求められると考え、「自分をつくり未来を拓く子どもが育つ学校」を研究主題とする第11期教育課程開発研究を立ち上げた。そして、子どもの姿から、教育活動をつくり、つくり変えてきた。そうする中で浮かび上がってきた、子どもが、自身の思いや願いの実現、社会の矛盾や価値の対立の解決に向かって創造的に思考したり行為したりする姿を、子どもの「問い」が立ちあがる姿ととらえた。このことから、子どもの「問い」が立ちあがる教育活動をつくること、「自分をつくり未来を拓く子どもが育つ学校」の具現につながると考えるようになった。</p> <p>このように、新たな教育課程開発研究を立ち上げ、研究主題「自分をつくり未来を拓く子どもが育つ学校」の具現につながる、子どもの「問い」が立ちあがる教育活動づくりに取り組んできたことが成果の一つである。</p> <p>○子どもの連続する差異の特徴的な姿と、【時間】【空間】【集団・社会】のとらえをひろげる子どもの様相を整理し、教育活動づくりに取り組んだこと</p> <p>私たちは、子どもの発達の違いとは、連続する違いの中に現れる特徴的な姿であるとしてとらえ直した。そして、学年を目安としながら、特徴的</p>

	<p>な姿を「体験」「思考、判断」「他者と共に生きる」の視点から整理した。また、特徴的な姿は、子どもが、「今、ここ、私」を基点として、時間、空間、集団・社会についてのとらえをひろげる様相であると考え、時間、空間、集団・社会を軸とする、子どものとらえのひろがり整理した。こうして、子どもの特徴的な姿を見つめ続ける中から、教師が、子どもをとらえて活動を構想する視点となるものを見いだし、教育活動づくりに取り組んできた。</p> <p>このように、子どもの連続する差異の特徴的な姿と、【時間】【空間】【集団・社会】のとらえをひろげる子どもの様相を整理し、共有しながら子どもの「問い」が立ちあがる教育活動づくりに取り組んできたことが成果の一つである。</p> <p>○児童、保護者、教師によるアンケート結果からは、「課題をもって意欲的に学ぶこと」「分かる、できるまで取り組むこと」「自分の考えをもち、上手に表現できること」「対象と主体的にかかわり、自分らしい考えをつくること」などの21世紀を生き抜くための能力が高まっていることが分かった。</p>
<p><b>研究成果の発表状況</b></p>	<p>11月22日（金）に2019年研究会を開催し、600人を超える参会者を迎えた。これまでの研究成果について研究リーフレットにまとめて示すとともに、研究発表、授業公開、協議会を行った。</p>
<p><b>学校現場や授業への研究成果の還元について</b></p>	<p>今後は、機関誌「教育創造」や活動公開等において、当校の教育課程のよさを広く伝えていく。また、上越教育大学の学部生・院生等に対しての講義にも当校の職員が講師として授業に参画し、子どもが育つ教育課程の実際を示していく。</p>

【提出期限】 令和2年3月31日（火）：厳守